

第 36 回日本生命倫理学会年次大会  
一般演題および公募セッション募集（2024 年 5 月 10 日）

大会長 松原洋子（立命館大学）

## 1. 演題募集

生命倫理学および関連分野に関するあらゆる演題を募集いたします。

## 2. 演題募集期間

2024 年 5 月 20 日（月）～ 6 月 17 日（月）17 時迄

応募の際には会員 ID とパスワードが必要です。予めご確認ください。

申し込み後の修正・削除は一切受け付けませんのでご注意ください。

## 3. 応募資格

一般演題（口演・ポスター）の筆頭発表者および公募セッション（シンポジウム・ワークショップ）のオーガナイザーは、日本生命倫理学会の会員（正会員・学生会員・名誉会員）または入会手続き中の方（正会員・学生会員）に限ります。入会方法は、学会ホームページでご案内しています。

公募セッション（シンポジウム・ワークショップ）に関しては、申請者であるオーガナイザー以外の登壇者は必ずしも会員である必要はありません。

※ 公募セッション（シンポジウム・ワークショップ）の報告者となられる非会員の方については、大会参加費を徴収致します。大会参加費のお支払いについては、10 月までにご案内します。

※ 非会員の方で一般演題（口演・ポスター）の筆頭発表者および公募セッション（シンポジウム・ワークショップ）のオーガナイザーになられる方は遅くとも 6 月 17 日までに入会手続きをお済ませください。

## 4. 大会ホームページにおける抄録集(発表要旨・概要集)の公開

今年度の大会では、大会ホームページ内で抄録集を閲覧できるようにします。閲覧できる人の範囲は、大会参加申し込みをした人に限定されます。何卒ご了承ください。

## 5. 登壇回数制限

理事会決定に基づき、一般演題（口演）、公募シンポジウム、公募ワークショップのそれぞれのカテゴリーにおいて、同じ発表者が 2 回以上登壇できなくなりました。ただし、以下にご注意ください。

※ 制限の対象となるのは実際にマイクを持ってプレゼンする登壇者です。そのため、オーガナイザーも登壇回数に数えられますが、氏名を連ねるだけの共同発表者は対象外となります。

※ 学会企画や大会企画シンポジウムも含め、1 大会の合計がポスター発表を除き 4 登壇以内であれば、同じカテゴリーで 2 つ以上の発表も認められます。

※ 制限は一般演題（口演）、公募シンポジウム、公募ワークショップを対象にしているため、学会企画・大会企画によるシンポジウム等、またポスター発表は対象外です。

## 6. 発表形式

一般演題（口演・ポスター）、公募セッション（シンポジウム・ワークショップ）を募集します。

### ■ 一般演題

- 口演：発表 10 分＋質疑応答 10 分
  - 口演で応募された場合でも、状況によりポスター発表とさせていただくことがあります。
- ポスター：発表 5 分＋質疑応答 5 分
  - ポスターのパネルサイズ（縦 118.9cm×横 84cm）A0 サイズ相当。

（応募フォーム記入例）

一般演題 口演・ポスター	希望カテゴリー：A.生命倫理の基本概念	第 会場
演 題 名	〇〇▲▲問題と生命倫理	
氏 名 (所 属)	共同演者を含む 末川博子 (衣笠大学哲学研究科) アーサー・M・クライン (梅田大学生命倫理学研究科)	
専門分野	生命倫理学	
キーワード	(5つまで) 例：生命倫理、道徳的ジレンマ、社会	
発表形式	口演 (一般演題) / ポスター (希望以外を消して下さい)	
倫理審査	倫理審査委員会の名称： 承認番号：	

### <「第 36 回年次大会若手発表奨励賞」>

- ※ 「若手発表奨励賞」は、本学会の若手会員による優れた研究報告を表彰することにより、若手会員の学会参加を促進し、また今後の研究活動の発展を支援・奨励するために創設されました。若手会員の一般演題の口演について、当日の発表を審査基準に則って審査し、受賞者を決定します。対象は、以下の応募資格に該当し、審査対象になることを希望される方とします。対象演題が多数となった場合には、事前審査を実施し、候補演題を選考する場合があります。若手発表奨励賞の候補となった演題は、希望カテゴリー以外のセッションでの発表となる予定です。ぜひ、ふるってご応募ください。応募される方は、演題募集の申込書および登録フォームの該当欄に記入してください。  
(研究開発委員会委員長 有江文栄)

#### 応募資格

- 原則として、筆頭発表者が 40 歳未満の方 (2025 年 3 月 31 日時点) とします。
- 筆頭発表者が 40 歳以上で、以下のいずれかにあてはまる場合には、これを証明もしくは事情を説明する文書を提出することにより、応募可能とします。ただし、大学等の研究機関で 5 年以上の研究職としての勤務歴のある方は除きます。
- 以下の a～d のうち該当する証明書や文書を PDF にしたうえで、2024 年 6 月 17 日までに、研究開発委員会 (ken-hatsu@ja-bioethics.jp) にメール添付でお送り下さい。その際、メールの件名は「若手発表奨励賞資格書類」としてください。
  - 年次大会期間中に大学院修士課程・博士課程在学中の方  
◇ 学生証または在学に関する証明書の PDF
  - 2025 年 3 月 31 日時点で博士号を取得して 3 年以内の方  
◇ 学位記または学位取得に関する証明書の PDF
  - 2022 年 4 月 1 日以降に、初めて博士研究員・助教 (任期つきを含む) の職を得た方  
◇ 職歴を記載した文書 (自由書式で 400 字以内) と、証明できるものがある場合はその書類の PDF
  - 育児・介護・病気療養などで 1 年以上の研究中断があり、演題募集締切日までに復帰している方  
◇ ご事情を記載した文書 (自由書式で 800 字以内) と、証明できるものがある場合はその書類の PDF

### <「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」等の遵守について>

- ※ 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和 5 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号)、「臨床研究法」(平成 29 年法律第 16 号)等の対象となる研究については、該当する規制を遵守し、審査を行った倫理審査委員会 (臨床研究法に基づく場合は認定臨床研究審査委員会)の名称と、与えられた承認番号を申込書に記載してください。

- ※ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の対象外であっても、人を対象とした調査研究に関する発表の場合は、下記のいずれかを申込書に記載してください。
  - (倫理審査委員会による審査が行われた場合) 審査を行った倫理審査委員会の名称と、与えられた承認番号を申込書に記載。
  - (倫理審査委員会による審査が行われなかった場合) 研究対象者に対する事前の説明と同意(研究協力及び結果の公表を含む)が適切に実施されたことを申込書の発表要旨中に記載。
- ※ なお、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」のガイダンスでは、研究対象者への侵襲や負担に関する考え方やインフォームド・コンセントのありかたが示されており、同指針の対象外となる研究を実施する際にも、参考にしてください。
- ※ また、演題応募の段階で応募者自身が「指針に該当しない」と判断した場合であっても、査読の結果、実行委員会が「指針に該当する」と判断した場合には、その旨を応募者に通知し、申込書の記載を修正していただくこともあります。

#### <COI (利益相反) の開示について>

- ※ 各発表者における COI (利益相反) については、演題発表に関連して開示すべき利益相反がある場合のみ、「COI 開示に関するスライド」をダウンロードし、口頭発表においてはパワーポイントの冒頭に、ポスター発表においても冒頭に掲示して下さい。
- ※ 開示すべき利益相反がない場合は、何もする必要はありません。
- ※ なお、COI (利益相反) の詳細に関しては、以下 URL にアクセスし、日本医学会「COI 管理ガイドライン」をご参照ください。  
[https://jams.med.or.jp/guideline/coi\\_guidelines\\_2022.pdf](https://jams.med.or.jp/guideline/coi_guidelines_2022.pdf)

#### <二重投稿について>

- ※ 発表内容に関しては原則として、未発表のものとしします。

#### <希望カテゴリー>

- A. 生命倫理の基本概念
- B. 研究倫理、産学連携
- C. 先端医療技術、医療化
- D. 医療経済、資源配分、公共政策
- E. 臨床倫理、看護倫理
- F. 生殖医療、産育、家族
- G. ケア、介護、福祉
- H. 終末期医療
- I. 宗教、思想、文化
- J. 環境・自然保護、大規模災害
- K. 医療安全、医薬品評価
- L. 生命倫理教育
- M. その他

\*カテゴリーは変更される場合があります。

#### ■ 公募セッション (公募シンポジウム・公募ワークショップ)

90 分のセッションを公募します。第 36 回年次大会では、「生命倫理がつなぐ連帯—対話の継続」をテーマとしています。応募多数の場合には、採否において大会テーマにより関連性があると考えられるものを優先して採択する方針です。ご希望にそえない可能性もありますので、ご了承ください。

#### 公募シンポジウム

- 90 分 (報告時間はオーガナイザーの趣旨説明や登壇者間のパネルディスカッションを含めて 60 分以内)
- 収容人数 50～200 名程度
- 採否決定後、各報告者の発表要旨を提出していただきます。

(応募フォーム記入例)

	公募シンポジウム	会場
<b>タイトル</b>	〇〇▲▲問題と生命倫理	
<b>氏名(所属)</b>	オーガナイザー：中川公夫(広小路大学文学研究科) 5分	
※報告時間もご記入ください	シンポジスト：	
	1 衣笠良子(南草津大学生命倫理学研究科) 15分	
	2 大津明夫(茨木大学倫理学研究科) 15分	
	3 守山唯郎(大分学院大学看護学部) 15分	
	パネルディスカッション 10分	
	※オーガナイザー・シンポジストの報告とパネルディスカッションで計60分以内	
<b>キーワード</b>	(5つまで) 生命倫理 道徳的ジレンマ 社会	
<b>倫理審査</b>	倫理審査委員会の名称： 承認番号：	

### ワークショップ

- 90分(報告時間45分以内、フロアを交えたディスカッション45分以上)
- 収容人数 20人~100名程度
- ワークショップの各報告者の発表要旨は不要です。

(応募フォーム記入例)

	公募ワークショップ	会場
<b>タイトル</b>	〇〇▲▲問題と生命倫理	
<b>氏名(所属)</b>	オーガナイザー 末川花子(朱雀大学倫理学研究科) 10分	
※報告時間もご記入下さい	報告者：	
	1 四条昭(二条大学生命社会学部) 10分	
	2 桂桜子(慶祥大学文学部) 10分	
	3 中川一郎(初芝大学文学部) 10分	
	パネルディスカッション(ない場合は「0分」として下さい) 0分	
	※オーガナイザー・報告者の報告とパネルディスカッションで計45分以内	
<b>キーワード</b>	(5つまで) 例：end of life、家族、社会、生命倫理、	
<b>倫理審査</b>	倫理審査委員会の名称： 承認番号：	

## 7. 応募方法

### 1. 申込書のダウンロード

以下の URL からダウンロードしてください。申込書にもれなくご記入のうえ、下記 2. の SOLTI のサイトからアップロードしてください。なお、発表要旨のレイアウトは実行委員会で行い、応募者による校正は行いませんのでご了承ください。

01 一般演題(講演・ポスター)申込書

[https://ja-bioethics.jp/wp-content/uploads/2024/05/01\\_general\\_entrysheet.docx](https://ja-bioethics.jp/wp-content/uploads/2024/05/01_general_entrysheet.docx)

02 公募シンポジウム申込書

[https://ja-bioethics.jp/wp-content/uploads/2024/05/02\\_symposium\\_entrysheet.docx](https://ja-bioethics.jp/wp-content/uploads/2024/05/02_symposium_entrysheet.docx)

### 03 公募ワークショップ申込書

[https://ja-bioethics.jp/wp-content/uploads/2024/05/03\\_workshop\\_entrysheet.docx](https://ja-bioethics.jp/wp-content/uploads/2024/05/03_workshop_entrysheet.docx)

## 2. 登録フォームへの入力と申込書のアップロード

今大会では、(株)ガリレオ提供の学会業務情報化システム (SOLTI) を通じて応募していただきます。SOLTI はウェブ上のサービスです。以下の URL にある登録フォームにもれなくご記入のうえ、申込書をアップロードしてください。

登録フォーム : <https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/public/JAB>

演題募集期間 2024年5月20日(月)～6月17日(月)17時迄

※ システムへのログインには、会員IDとパスワードが必要です。予めご確認ください。  
不明な場合はログイン画面の右側にある「ログインできない方はこちら」ボタンから、再設定もしくは、照会フォームでの問い合わせへお進みください。

## 8. 応募の確認・採否の通知

演題の応募受付後に、自動送信で確認のメールが届きます。確認メールがもし届かない場合には、大会事務局までご一報ください。

応募フォームの内容を年次大会実行委員会で検討させていただき、7月上旬に採否の連絡をいたします。

## 9. お問い合わせ先

第36回日本生命倫理学会年次大会事務局  
立命館大学衣笠総合研究機構 川端美季 宛  
〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1  
Email : 36-ritsumeikan@ja-bioethics.jp

## 10. ホームページ

第36回日本生命倫理学会年次大会ホームページ  
<https://ja-bioethics.jp/conference/top36/>

## 11. 今後のスケジュール

5月20日 一般演題(口演・ポスター)、公募シンポジウム、公募ワークショップの演題募集  
6月17日 応募締め切り  
7月上旬 採否決定通知  
10月末 予稿集HP公開

## 12. 第36回日本生命倫理学会年次大会実行委員(敬称略)

松原洋子(大会長、立命館大学)、大谷いづみ(大会実行委員長、立命館大学)、川端美季(大会副実行委員長、立命館大学)、伊東香純(立命館大学)、井上悠輔(京都大学)、小門穂(大阪大学)、後藤基行(立命館大学)、野崎亜紀子(獨協大学)、美馬達哉(学会企画委員長、立命館大学)、中澤栄輔(学会事務局長、東京大学)

2024年5月10日現在

以上